

事業コード	09020115	政策コード	09	政策名	自然環境の保全
事業名	白神山地世界遺産登録20周年記念事業	施策コード	02	施策名	自然と触れ合う多彩な活動の推進
		指標コード	01	施策目標(指標)名	自然と触れ合い、親しむ施設等の整備と有効活用
部局名	生活環境部	課室名	自然保護課	班名	調整・自然環境班
				(tel)	1613
				担当課長名	阿部 雅弘
				担当者名	上田 貴夫

評価対象事業(計画)の内容

事業年度 平成25年度 ~ 平成25年度

1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか)  
 平成25年12月11日に、白神山地が世界遺産登録20周年を迎える。遺産登録後に増加した入込客数は、人々の関心の薄れから減少してきている。小笠原諸島など新たな世界遺産が注目を集める中で、白神の価値や魅力を県内外に伝えることで、現地に足を運ぶ人を増やす必要がある。また、白神山地を将来にわたって守り伝えていくためには、特に児童・生徒などの若い世代に対して環境教育を行っていく必要がある。

3. 事業目的(どういう状態にしたいのか)  
 県民が白神山地の価値を再発見することで白神の保全に対する意識が高まるとともに、白神の魅力を訪れる人たちに伝えられるようになる。また、白神が良質な環境学習の場として活用されるようになる。これらの結果、白神を訪れる人が増え、地域活性化に寄与する。

(重点施策推進方針との関係) ○ 重点事業として要望 ● その他事業として要望

2. 住民ニーズの状況  
 ①ニーズを把握した対象  
 受益者  一般県民 (時期: H24 年 10 月)  
 ②ニーズの把握の方法  
 アンケート調査  各種委員会及び審議会  ヒアリング  インターネット  
 その他の手法 (具体的に 国及び周辺自治体等による記念事業検討会 )  
 ③ニーズの具体的内容  
 検討会の中で、白神山地の「価値を再発見」し、「環境教育の場として活用」し、世界遺産を活用した観光振興による「地域活性化」が必要であるとの意見が出された。そのために、遺産登録20周年を契機として様々なイベントを開催し、県内外に広く白神山地をPRすることが必要であるとの認識で一致した。

4. 目的達成のための方法  
 ①事業の実施主体 県  
 ②事業の対象者・団体 県民、県外観光客  
 ③達成のための手段  
 国、地元自治体、地域の関係団体等と連携した記念事業実行委員会を組織し、シンポジウムや子ども自然体験教室等、年間を通じて様々なイベントを開催する。

④比較した代替手段及び選択した手段の有効性  
 白神山地に関わる国(環境省、林野庁)や地元自治体、民間団体等と連携することで、各機関が独自で実施するイベントとも組み合わせ、年間を通じて絶え間なく20周年をPRすることができる。

◎把握していない場合の理由及び今後の方針

①理由	
②今後の方針	

5. 事業の全体計画及び財源 単位(千円)

順位	事業内訳	左の説明	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	全体(最終)計画
01	白神山地世界遺産登録20周年記念事業	白神山地世界遺産登録20周年を記念し、シンポジウムや自然体験教室等の様々なイベントを開催する。	11,910						
	財源内訳	左の説明	11,910						
	国庫補助金								
	県の債								
	その他	産業廃棄物対策基金	11,910						
	一般財源		0						

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果 世界遺産地域への来訪者数が増加する。

指標 I	指標名	世界遺産地域への来訪者数							指標の種類
	指標式	来訪者数							○成果指標 ●業績指標
①年度別の目標値（見込まれる成果による指標）									
	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
	目標a			9,300					
	実績b	7,932	7,840	②データ等の出典					
	東北	東北地方環境事務所							
	全国								
③把握する時期 ● 当該年度中 03 月 ○ 翌年度 月 ○ 翌々年度 月									

指標 II	指標名								指標の種類
	指標式								○成果指標 ○業績指標
①年度別の目標値（見込まれる成果による指標）									
	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
	目標a								
	実績b			②データ等の出典					
	東北								
	全国								
③把握する時期 ○ 当該年度中 月 ○ 翌年度 月 ○ 翌々年度 月									

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することが出来ない理由

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性  
白神山地世界遺産は秋田が世界に誇る宝であり、将来にわたって守り伝えていくとともに、地域の活性化にも結びつけていく必要がある。

住民ニーズに照らした事業の必要性  
国、地元自治体等関係者が集まった検討会で事業方針等が決められたため、必要性は高い。

事業の県関与の必要性  
 法令・条例上の義務     内部管理事務     県でなければ実施できないもの  
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

県が中心となって地元自治体や民間関係者を取りまとめ、青森県や国とも連携することで、それぞれが単独で行うよりも統一感を持って効果的に事業を実施し、県内外に向けて白神山地をPRすることができる。

（この欄は空欄です）

政策評価委員会意見	重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定

○重点事業    ○その他